

株式会社新和プラスチック

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2020 年9月1日～ 2021 年8月 31日)



作成日: 2021年10月5日
更新日: 2022年6月1日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	4～7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	7
代表者による全体の評価と見直し・指示	8
編集後記	8



□ごあいさつ

近年、二酸化炭素や汚水排出、産業廃棄物などの増加による自然環境破壊で、地球温暖化や自然災害などの様々なカタチで地球生物に悪影響を及ぼしていることが問題視されています。

エコアクション21に取り組むことにより、環境に配慮した事業活動として二酸化炭素排出量や廃棄物発生量の削減、節水などを実施し、数値化目標を立て、エコ活動することで環境保全につなげます。
また、本活動の取り組みを公開することで、社会の信頼を得ると同時に全社員が限りある資源を有効に使う習慣を身につけることを習得いたします。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社はモノづくりの町、東大阪の南部に位置し工場と宅地が混在した地域で営んでいます。

アクリル板加工及び販売事業を行うなかで、地球温暖化問題や地域の環境活動に自主的、積極的に取り組みます。

中でも環境保全は重要な課題の一つであることを認識し、品質を向上をさせて長持ちする商品作りや端材利用、ごみの少ない梱包形態に改善することで、限りある資源の有効利用と地域環境保全に成果をもたらす一筋の環境対策と捉え従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 当社に適用される環境関連法規・当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 省エネルギー化に取り組み、二酸化炭素の排出量を削減します。
3. 廃棄物の発生制御に努めます。
4. 節水に努め水使用量を削減します。
5. 溶剤など適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した商品やサービスをお客様にお届けします。
7. 改善提案から課題を発見し、チャンスと捉え、品質の向上及び効率化を図ります。
8. 環境保全に関する地域社会との調和を図ります。

制定日：2020年11月18日

代表取締役 **田邊 正人**

□組織の概要

更新日 2020年10月15日

(1) 名称及び代表者名

株式会社新和プラスチック
代表取締役 田邊 正人

(2) 所在地

本 社 大阪府東大阪市衣摺5-18-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 製造部 山田 祐大 TEL : 06-6721-6578
担当者 EC事業部 瀬田 彩乃

(4) 事業内容

プラスチック素材の加工およびプラスチック商品の開発・製造・販売

(5) 事業の規模

	本	社	出荷実績年間
従業員 名		17 名	9285件
延べ床面積 m ²		870 m ²	

(6) 事業年度

9 月 1 日 ~ 8 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社新和プラスチック
対象事業所： 本 社
対象外： なし
活動： プラスチック素材の加工およびプラスチック商品の開発・製造・販売

□事業や製品(商品)の紹介

■ プラスチックの加工および商品販売 ■

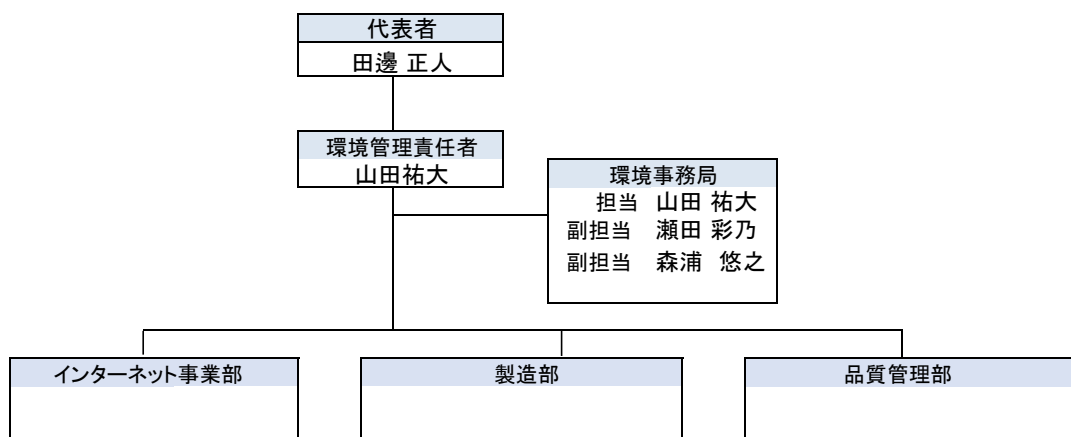
- ・主な取扱い商品
液晶テレビ保護パネル
ブックスタンドなどの雑貨
アクリルパーテーション

アクリル製品・雑貨の販売

<https://www.rakuten.ne.jp/gold/decodeco-shop/>

<https://shopping.geocities.jp/decodecoshop/>





役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の策定・見直し 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 代表者による全体の評価と見直し 環境経営計画書承認及び環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営計画書確認及び環境経営レポートの確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		31,995	28,967
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg		4,200	3,368
産業廃棄物排出量	kg		21,082	11,291
水使用量	m ³		172	146

※二酸化炭素排出係数 0.468 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数
 ※二酸化炭素排出量には灯油使用量が含まれます。

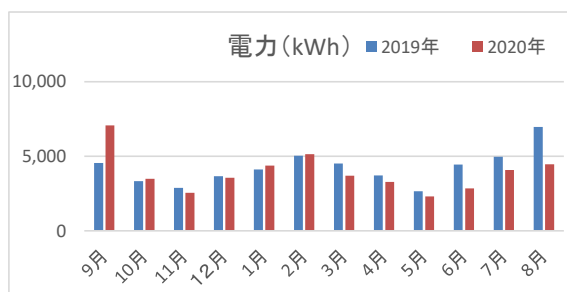
□環境経営目標及びその実績

項目	年度	2019年		2020年		評価	2021年	2022年
		(基準値)	(実績)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	23,786	23,548	21,926	○	23,310	23,072	
	基準年度比		99%	92%		98%	97%	
	原単位 kWh/千円	0.272	0.270	0.219	○	0.267	0.264	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	7,584	7,432	6,350	○	7,357	7,281	
	基準年度比		98%	84%		97%	96%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	31,370	30,980	28,276		30,666	30,353	
一般廃棄物の削減	kg	4,200	4,074	3,368	○	4,074	4,032	
	基準年度比		97%	80%		97%	96%	
プラ廃棄物の削減	kg	21,082	20,871	11,291	○	20,660	20,239	
	基準年度比		0.99	54%		0.98	0.96	
水道水の削減	m ³	172	170	146	○	169	167	
	基準年度比		99%	85%		98%	97%	
化学物質の適正管理		行動目標(次項による)						
環境に配慮した生産活動		行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標: ○達成 ×未達成
 活動: ○よくできた △まあまあできた ×できなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	2月で建物内の照明を全てLED化の工事が完了したためこれからの長期的な電気代の削減を見込んでいる。節電ステッカーの設置やスイッチをシールで色分けすることにより不要な照明をつけないように取り組んだ。現在、昼休みなど人がいないときは不要な照明を消したり、エアコンや換気扇のオフを心がけているが年末年始にかけて注文数が増えたことと気温の低下により電気の使用量も増えていることが判明したため挽回策として空調の見直しや節電プラグの導入を検討。
原単位目標	○	
・空調の適温化(作業場は除く)	○	
・不要電力の削減(待機電力・照明)	○	
・空調機フィルターの定期的な清掃・交換	△	
・設備の一覧表を作る	○	



【節電喚起ラベルの設置】

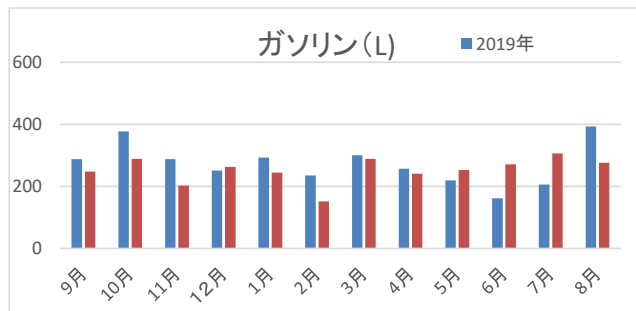
電気スイッチがどこの電気のか把握するため配置図を設置。

節電を呼びかけるラベルを貼り、スイッチをこまめに切るように意識づけをした。



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2019年	4,541	3,339	2,883	3,661	4,107	5,029	4,519	3,719	2,659	4,438	4,968	6,961
2020年	7,074	3,483	2,554	3,553	4,370	5,138	3,695	3,277	2,305	2,851	4,084	4,467

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	エコドライブについて確認し、ガソリン料金と走行距離について再確認できた
・エコドライブの実施	△	コロナの影響もあるが、アイドリング設定を実施して、
・定期的なタイヤの空気圧確認	○	平均で半年間で10000キロほど走るところ、今回は3000キロほどでおさまった。タイヤ空気圧調整については毎朝、運転前にタイヤのヘタリや損傷が無いかは確認しています。偶数月で約2ヶ月に一度、タイヤ圧を確認するようにしている。中でもふんわり運転について次期からは達成率60%を目指す。



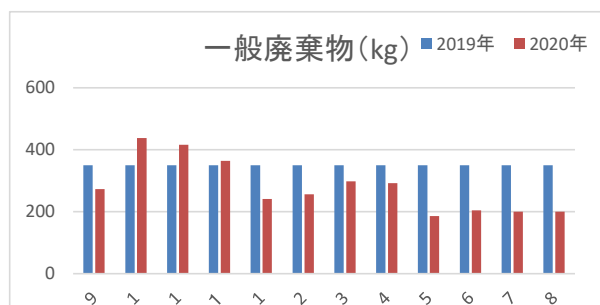
【 エコドライブ 】

- ・『エコドライブ』について確認を行った。

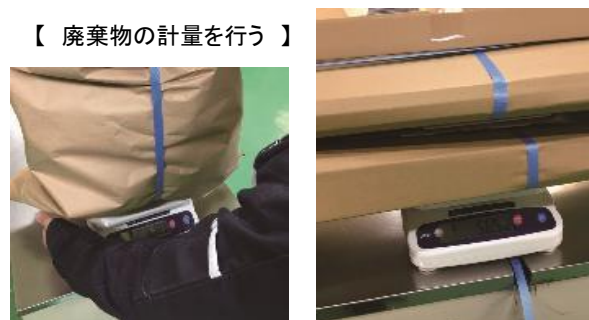


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2019年	288	377	288	251	293	235	300	257	219	162	206	393
2020年	248	289	203	263	244	152	289	241	253	271	306	276

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	棄物の見える化実施のため委託先との契約の見直しを始めた
・廃棄物の見える化（量、金額、委託先）	○	目標に対しては売り上げに比例し紙系のゴミ量が増えているので
・使い捨て製品の抑制、リサイクル可能な製	○	前年比では比較しにくくなっている。次年度より、紙系のごみ量削減のために裏紙をメモとして使用することやそのままごみとして廃棄するのではなく何かに使えないかを1人1人が考えることによってごみの量の大幅な減少を目指します。
・3S活動実施	△	

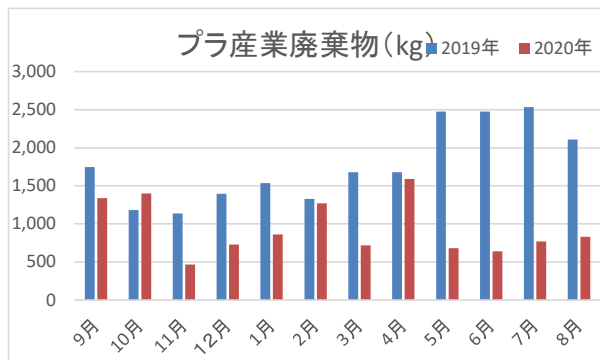


【 廃棄物の計量を行う 】



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2019年	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350
2020年	273	438	416	364	241	256	298	292	186	204	200	200

プラ廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	廃棄物の見える化によって自社がどれだけゴミを出しているかはっきりと把握することができたこれから意識的に自社で再利用できる分は再利用を行っていくことでゴミ削減に期待している。
・作業ミスによる廃棄量の見える化	○	
・素材別の回収袋設置	○	
・端材の再利用	○	

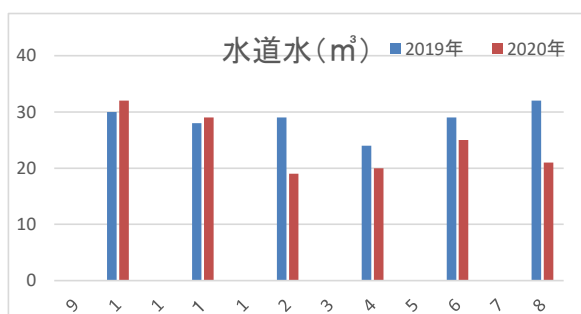


【 産業廃棄物保管場所ラベル設置】



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2019年	1,747	1,183	1,136	1,396	1,535	1,329	1,680	1,680	2,474	2,474	2,532	2,109
2020年	1,339	1,398	467	727	860	1,270	720	1,590	680	640	770	830

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	節水シール、節水ポスターを作製し、水を節約するということに対する意識が持てるようになった。元々水道使用は多くはないため大きく変化したことはないが、数値を把握することで、現状を見ることができた。今後、より無駄遣いを控えられる方法を探しながら、節水に対して社員一人ひとりがより意識して活動していける体制を考える。
・節水シール作成と貼り付け	○	
・ポスター作成と掲示	○	



【 節水シールの設置 】



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2019年	0	30	0	28	0	29	0	24	0	29	0	32
2020年	0	32	0	29	0	19	0	20	0	25	0	21

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日2021年9月10日

電力や産業廃棄物発生量を前年比-1%削減を数値目標と設定し、全社員で取り組むことを策定した。全社員に役割が与えられ、各自責任と使命をもって廃棄物の種分けと計量を行い、リサイクル可能な廃物まで分別できるようになった。
節電については使い終わったら消す、気付いたら消すから始まり、エアコンは温度を調節し必要以上に使わないなどを定めた。昨年9月から半年近く活動して、産業廃棄物の削減や節電、節水などの意識の向上が定着しつつある。

使ったら元に戻し、気付いたら元に戻すは、今後の作業効率や商品、サービス向上に期待できると確信している。ここ数年で原材料は高騰し続けており、材料を有効に使用することは必須項目であり、材料を再利用することで資源の有効利用と産業廃棄物削減の上、新たな利益をもたらすことも期待できる。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/>	変更なし	<input checked="" type="checkbox"/>	変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり

□これまでの環境活動の紹介

今回エコアクションに取り組んで、知らないことも多く戸惑うこともあった。社内で役割分担を決めて活動したが、そのデータや活動をその時々で更新し共有することが難しく、これからの課題でもあると感じる。
年間を通した基準の部分がないため、この一年で築きそれに合わせたエコ活動を継続実行していきたいと考える。